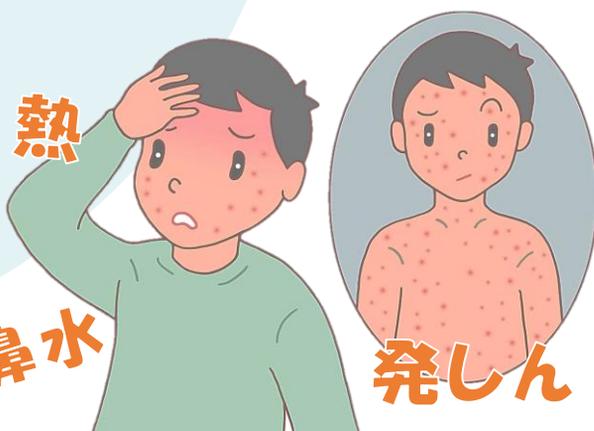


ま 麻疹 (はしか) に

ちゅうい
ご注意ください

高熱
せき
鼻水



症状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

麻疹かな?と思ったら

医療機関に電話等で麻疹の疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

感染経路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

予防方法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。



海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください



鹿児島市

[ホーム](#) > [健康・福祉](#) > [健康・医療](#) > [感染症、流行疾患](#) > 麻しん（はしか）患者の発生（本年4例目）

更新日：2026年3月17日

麻しん（はしか）患者の発生（本年4例目）

麻しん（はしか）患者の発生について

令和8年3月16日に鹿児島市保健所管内で麻しん（はしか）の発生届出等があり、当該患者の疫学調査の結果、他の人に感染させる可能性がある期間（感染可能期間^{（注）}）に、不特定多数の方が利用する施設等を利用していたことが判明しましたので、注意喚起のため、お知らせします。

（注）発症日の1日前から、解熱後3日間を経過するまでの期間

あわせて、まだ定期予防接種を受けられていないお子さんについては、早めに予防接種を受け、感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

患者が利用し不特定多数の方と接触した可能性がある施設等

3月14日（土曜日）

- マリンメッセ福岡（12時～12時30分頃、17時～20時頃）
- ゆめタウン博多（12時30分～14時頃）
- ベッセルホテル福岡貝塚（15時15分～16時30分頃、21時30分～翌日9時頃）
- まいどおおきに食堂福岡貝塚食堂（21時～21時30分頃）

3月15日（日曜日）

- 基山パーキングエリア（下り）（10時～10時10分頃）

（注）現時点において、麻しん患者が利用した施設を利用されても、感染の心配はありません。

（注）利用後21日間は麻しんの発症の可能性を考慮し、健康状態に注意してください。

（注）施設等へのお問い合わせはお控えください。感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点

から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、また施設等に対する風評被害がないよう特段のご配慮をお願いします。

市民の皆様への注意喚起等

○麻しんを疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、**必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。**

○麻しんの予防には、予防接種が最も有効な予防方法の1つです。

○麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。

鹿児島市・鹿児島県・全国の患者報告数推移

直近の鹿児島市・鹿児島県・全国の報告数の推移は以下の通りです。

（注）令和8年は3月16日時点（全国は3月8日時点）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
鹿児島市	0件	0件	0件	0件	2件	4件
鹿児島県	0件	0件	0件	0件	2件	5件
全国	6件	6件	28件	45件	265件	100件

症状

麻しんウイルスの感染後、10日から12日間の潜伏期ののち、発熱や咳などの症状で発症します。38℃前後の発熱が2から4日間続き、倦怠感、上気道炎症状（咳、鼻水、くしゃみなど）、結膜炎症状（結膜充血、目やに、光をまぶしく感じるなど）が現れて次第に強くなります。

発疹が現れる1から2日前ごろに口の中の粘膜に1mm程度の白い小さな斑点（コプリック斑）が出現します。コプリック斑は麻しんに特徴的な症状ですが、発疹出現後2日目を過ぎるころまでに消えてしまいます。

コプリック斑出現後、体温は一旦下がりますが、再び高熱が出るとともに、赤い発疹が出現し全身に広がります。

発疹出現後3から4日で回復に向かい、合併症がない限り7から10日後には主症状は回復しますが、免疫力が低下するため、しばらくは他の感染症に罹ると重症になりやすく、体力などが戻って来るのに1か月くらいかかることも珍しくありません。

麻しんに伴って肺炎、中耳炎、脳炎などさまざまな合併症がみられることがあります。特に、脳炎は頻度は低い（1000人に1人）ものの死亡することがあり、注意が必要です。

感染経路

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身性感染症です。

感染経路としては、空気感染（飛沫核感染）、飛沫感染、接触感染など様々な経路があります。

感染力は極めて強く、麻しんの免疫を持たない人が感染するとほぼ100%の確率で症状が現れ、一度感染して発症すると生涯免疫が持続するといわれています。

予防方法

麻しんは、手洗いやマスクのみでの予防はできませんが、ワクチンを1回接種することで、95%の人が麻しんに対する免疫がつくといわれています。確実な免疫を得るためには、99%以上の人が免疫がつくと言われる2回の接種がのぞましいとされています。

予防接種は、自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも有効です。

医療・教育関係者や、海外渡航を計画されている方は、麻しんの罹患歴や予防接種歴を確認し、明らかでない場合は予防接種を検討してください。

麻しんの予防接種歴がない方で、発熱、咳、鼻水、眼球結膜の充血など麻しんに特徴的な症状が現れた方は、事前に医療機関に電話で連絡し、指示に従って受診してください。

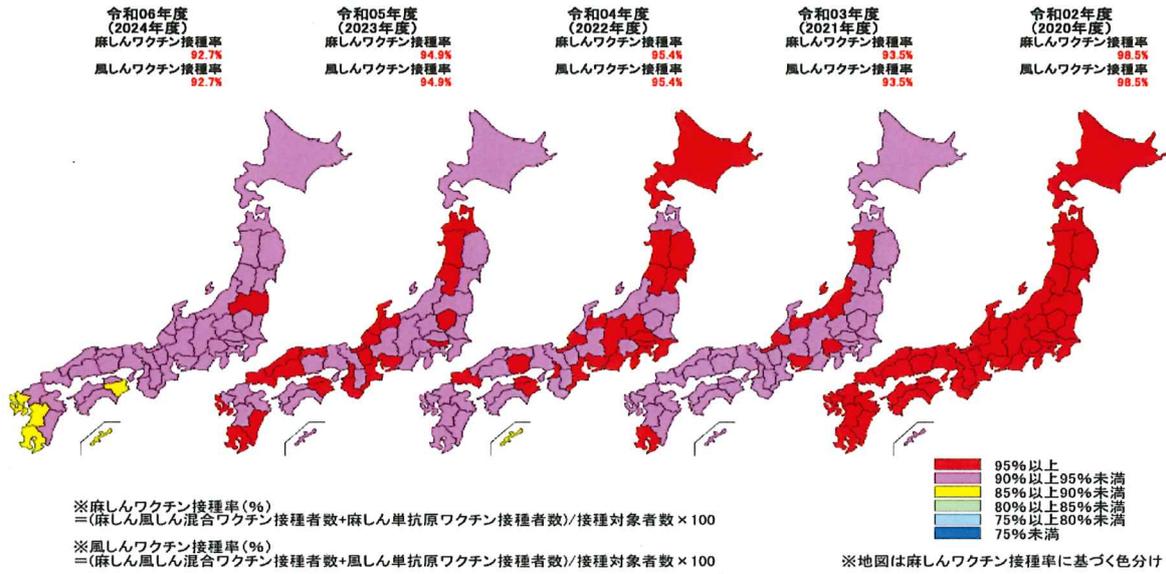
その際、症状出現日の10から12日前（感染したと推定される日）の行動（海外の流行地や人が多く集まる場所へ行ったかどうか等）について、医療機関にお伝えください。

医療機関の方々へ

麻しん患者を診断した場合は、**直ち**に保健所へ発生届の届出をお願いします。

また、「麻しんに関する特定感染症予防指針」に基づき、ウイルス遺伝子検査を行うため、患者検体の提供に御協力をお願いします。

● 第1期 麻疹風疹ワクチン接種状況



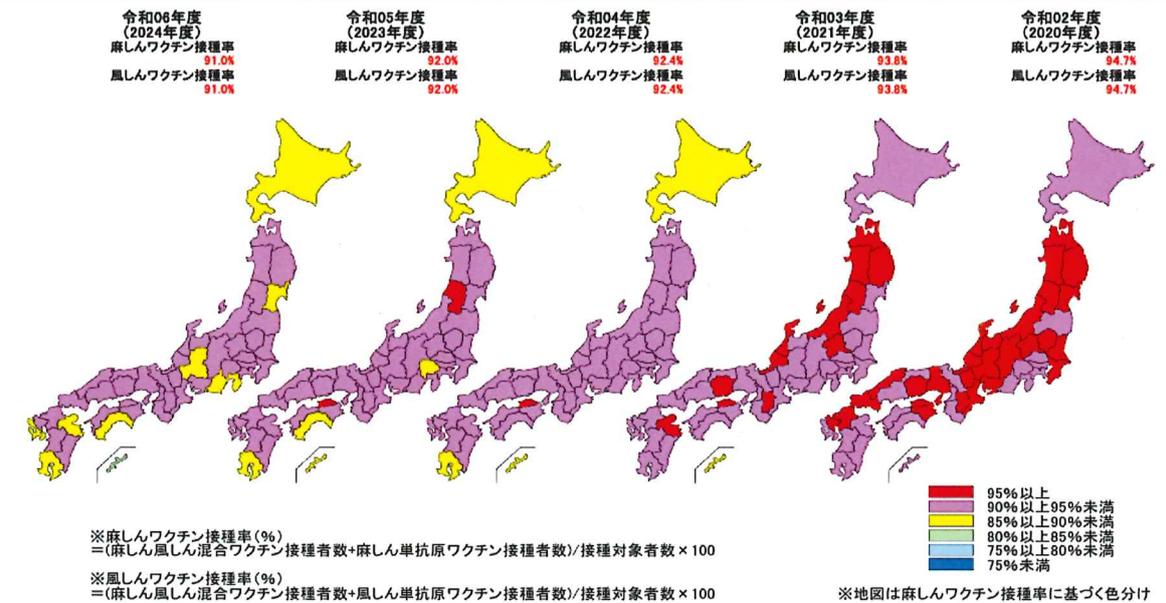
〈福岡県の接種率〉

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課、国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所予防接種研究部

年度	R6	R5	R4	R3	R2	H3I
福岡県 (全国順位)	92.5% (19位)	94.6% (26位)	94.8% (22位)	94.2% (12位)	98.1% (28位)	94.6% (36位)

福岡県麻疹・風疹対策会議

● 第2期 麻疹風疹ワクチン接種状況



〈福岡県の接種率〉

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課、国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所予防接種研究部

年度	R6	R5	R4	R3	R2	H3I
福岡県 (全国順位)	90.8% (29位)	92.1% (28位)	92.3% (33位)	94.6% (18位)	95.1% (25位)	94.9% (18位)

福岡県麻疹・風疹対策会議

令和8年度から、
妊娠28週～36週の妊婦の方を対象に

RSウイルス 感染症に対する 母子免疫ワクチンの 定期接種を実施します。

RSウイルス感染症は乳幼児が感染すると重症化することがあります

RSウイルスは小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、2歳までにほぼ全ての乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。

感染すると、発熱、鼻水、咳などの症状が出現し、初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、重症化することがあります。

2010年代には、年間12万人～18万人の2歳未満の乳幼児がRSウイルス感染症と診断され、3万人～5万人が入院を要したとされています。



定期接種の対象

接種時点で、**妊娠28週0日 から 36週6日** までの妊婦の方
過去の妊娠時にRSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)を
接種したことのある方も対象になります。

定期接種を受ける方法と費用

定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村で実施されます。
接種できる場所や費用について、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。また、里帰り出産によりお住まいの市町村外での接種を希望する場合についても、お住まいの市町村にお問い合わせください。

使用するワクチン(母子免疫ワクチン)について

母子免疫ワクチン(ファイザー社の組換えRSウイルスワクチン:アブリスボ®)を使用します。このワクチンは、妊婦の方に接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時からRSウイルスに対する予防効果を得ることができます。



接種スケジュール	妊娠28週0日から36週6日までの間に1回接種
----------	-------------------------

ワクチンの効果

	有効性(※1)	
	日齢0日~90日	日齢0日~180日
RSウイルス感染症による医療受診を必要とした下気道感染症(※2)の予防	6割程度の予防効果	5割程度の予防効果
RSウイルス感染による医療受診を必要とした重症下気道感染症(※3)の予防	8割程度の予防効果	7割程度の予防効果

※1 妊娠24週~36週の妊婦を対象としています。

※2 肺炎、気管支炎等の感染症

※3 医療機関への受診を要する気道感染症を有するRSウイルス検査陽性の乳児で、多呼吸、SpO2 93%未満、高流量鼻カニキュラまたは人工呼吸器の装着、4時間を越えるICUへの収容または無反応・意識不明のいずれかに該当と定義しています。

ワクチンの安全性

ワクチンの接種後に副反応がみられることがあります。

主な副反応には、接種部位の症状(疼痛、腫脹、紅斑)、頭痛、筋肉痛があります。

ワクチン接種による妊娠高血圧症候群の発症リスクに関して、薬事承認において用いられた臨床試験では、妊娠高血圧症候群の発症リスクは増加しませんでした。海外における一部の報告では、妊娠高血圧症候群の発症リスクが増加したというものもありますが、解釈に注意が必要であるとされています。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

●他のワクチンとの同時接種について

医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。

予防接種後に健康被害が生じた場合は、救済制度があります

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

接種を受けたご本人及び出生した児が対象となります。制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けた時に住民票を登録していた市町村にご相談ください。



肺炎の主要な原因である

肺炎球菌の感染症を

予防できるワクチンがあります



65歳の方などを対象に定期接種を実施しています。

肺炎球菌とワクチンについて

○肺炎は日本の死亡原因の第5位であり、成人の肺炎の約2～3割は、肺炎球菌という細菌により引き起こされるとの報告があります。

○肺炎球菌は、このほかにも、血液の中に細菌が回ってしまう敗血症（はいけつしょう）などの重い感染症の原因になることがあります。

○肺炎球菌による感染症に対して、すべての肺炎などが防げるわけではありませんが、有効性・安全性が確認されているワクチンがあります。

〈肺炎の原因(※)〉



(※) Y Fujikura, et.al. BMJ Open Respiratory Research 2023; 10 (1) :e001800 の結果より作図

定期接種の対象と使用するワクチン

■対象となる方(定期接種は①、②、③を通して生涯で1回のみとなります)

① 65歳の方

注意

定期接種の機会には65歳の1年間です。定期接種の対象となる方で、接種を希望する方は、接種の機会を逸することがないようにご注意ください。

注：65歳を超える方を対象とした経過措置は2024年3月31日に終了しました。

② 60～64歳で

心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方

③ 60～64歳で

ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

■定期接種で使用するワクチン：沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)

ワクチンの効果

- 肺炎球菌には100種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)」はそのうちの20種類の血清型を対象としたワクチンです。
- この20種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症(※)の原因の約5～6割を占めるとい研究結果があります。
- また、このワクチンは、血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症を約3～4割程度を予防する効果があるという研究結果があります。

(※)侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

ワクチンの安全性

- このワクチンの接種後に、副反応が生じることがあります。
- 主な副反応には、接種部位の症状(痛み、赤み、腫れなど)、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。
- 接種後に気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師にご相談ください。



定期接種を受ける方法・費用

- 定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村(特別区を含む。以下同じ。)で実施されます。
- 接種を受ける場所や費用についての詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

より詳しい情報については、右記のホームページをご確認ください。	肺炎球菌感染症(高齢者)について→		予防接種健康被害救済制度について→	
ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。	厚労 肺炎球菌 高齢者 検索		厚労 予防接種 救済 検索	

子宮けいがんの予防について ～HPVワクチンについて知ってください～

HPVワクチンは、**小学校6年から高校1年相当の女性**を対象とした定期予防接種です。現在、子宮けいがんの原因の**80～90%**を占めるHPVの感染を予防できる**9価HPVワクチン**が、公費（自己負担なし）で接種できます。

子宮けいがんを予防するために、下記についてご理解の上、是非HPVワクチンの接種についてご検討ください。



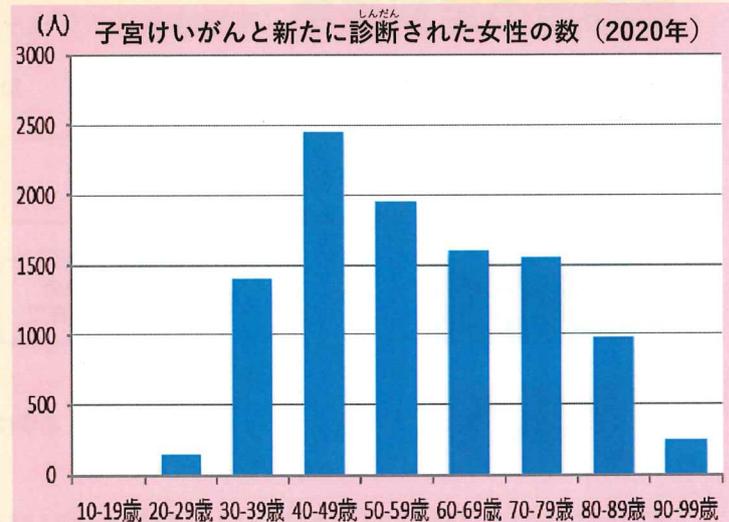
子宮けいがんとは？



子宮けいがんは、子宮のけい部という子宮の出口に近い部分にできるがんで、HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が原因と考えられています。

日本では**毎年、約1万人の女性**が子宮けいがんになり、**毎年、約3,000人の女性**が亡くなっています。

25～40歳の女性のがんによる**死亡の第2位**は、**子宮けいがん**によるものです。HPVは一度でも性的接触の経験があれば、だれでも感染する可能性があります。



子宮けいがん^{けいがん}で苦しまないためにできることは、**HPVワクチンの接種**と**子宮けいがん検診の受診**の2つです。
(HPVの感染を予防) (がんを早く見つけて治療)

HPVワクチンの効果

- ・ HPVの中には子宮けいがんを起こしやすい種類のものがあります。HPVワクチンは、このうち一部の感染を防ぐことができます。
- ・ 9価ワクチンは、子宮けいがんの原因の**80～90%**を防ぎます。
- ・ がんになる手前の状態が減るとともに、がんそのものを予防する効果があることも分かってきています。

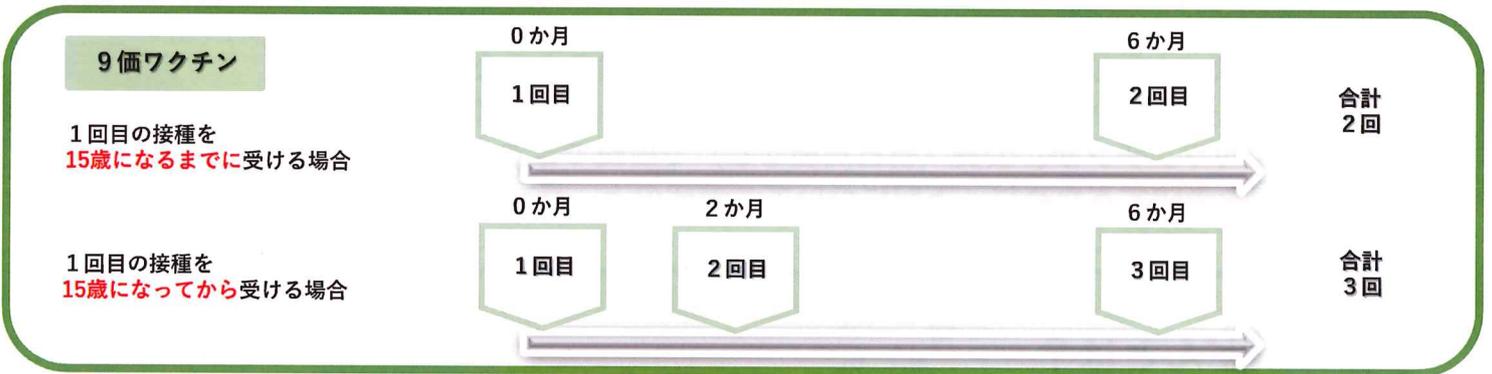
HPVワクチンのリスク

- ・ 接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状^{しょうじょう}が起こることがあります。
- ・ ワクチンの接種を受けた後に、まれにですが重い症状が起こることがあります。ワクチンが原因となったものかどうかわからないものをふくめて、接種後に重篤^{じゅうとく}な症状として報告があったのは、**ワクチンを受けた1万人あたり約2人です。**

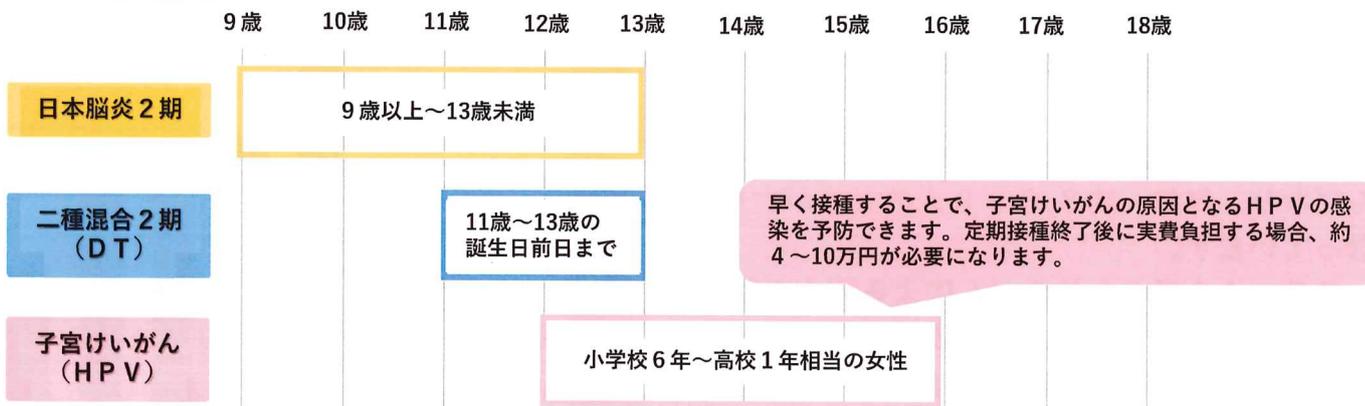
HPVワクチンを受けていても2年に1度は検診を受けることが大切です。

接種スケジュール

HPVワクチンは、接種を開始する年齢によって、接種の回数や間隔が異なります。



学齢期の定期接種（定期接種スケジュール）



■小学校6年生以上であれば、上記のワクチンを同時接種することも可能です。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

HPVワクチンに関する相談先一覧

一般的な相談窓口 (医療、健康被害救済制度等に関するご相談)	電話番号
福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課	092-643-3596
※下記市にお住まいの方の相談窓口	
北九州市保健福祉局健康医療部健康危機管理課	093-582-2090
福岡市保健医療局健康危機管理部健康危機管理課	092-711-4270
久留米市健康福祉部保健所保健予防課	0942-30-9730
予防接種の実施に関する相談窓口 →お住まいの市区町村の予防接種担当部門	
接種後に、気になる症状が出たとき →まずは、接種を受けた医師・かかりつけの医師にご相談ください	

引用：厚生労働省 HPVワクチンに関するリーフレット

HPVワクチンに関する詳細については、
右の二次元コードから厚生労働省ホームページをご覧ください。



福岡県医師会・福岡県産婦人科医会・福岡県小児科医会